

桃田、第一線退く意向

バド国内リーグ今季限り

バドミントン全日本総合選手権男子シングルスで優勝し、ガッツポーズしながら笑顔を見せる桃田
＝2022年12月30日、東京都



バドミントン男子シングルス元世界王者、桃田賢斗(30)＝NTT東日本、宮岡高卒＝が今季のS/Jリーグを最後に第一線を退く意向であることが3日、関係者への取材で分かった。桃田は2020年1月に遠征先のマレーシアで交通事故に遭い、右目眼眶底骨折の手術を受けた影響などで、今年5月の国際大会を最後に日本代表から引退していた。

恩師「今後魅力伝えて」

S/Jリーグは今年2月に開幕し、来年2月まで開催される。関係者によると、12月の全日本総合選手権には出場しない見通しだ。桃田は香川県出身。富岡一中、富岡高卒。13年にNTT東日本に入り、18年に日本男子として初の世界選手権制覇と世界ランキング1位を達成した。19年には世界選手権を2連覇したほか、国際大会で歴代最多の年間11度の優勝を飾りギネス世界記録に認定された。五輪は違法賭博問題による出場停止処分を受けて16

長く日本のバドミントン界をリードしてきた第一人者が、その活動に一つの区切りを付ける。男子シングルス元世界王者の桃田賢斗が第一線を退く意向を示したことを受け、恩師らはこれまでの活躍をねぎらい、今後の活躍に期待を寄せた。

「長く男子シングルスを引き継ぎ続けてきた活躍は価値あるもの。一般の人たちにもバドミントンの魅力を伝えてくれた」。富岡高時代に桃田を指導した大堀均さん(56)＝トナミ運輸へ

「長く日本のバドミントン界をリードしてきた第一人者が、その活動に一つの区切りを付ける。男子シングルス元世界王者の桃田賢斗が第一線を退く意向を示したことを受け、恩師らはこれまでの活躍をねぎらい、今後の活躍に期待を寄せた。」

「長く男子シングルスを引き継ぎ続けてきた活躍は価値あるもの。一般の人たちにもバドミントンの魅力を伝えてくれた」。富岡高時代に桃田を指導した大堀均さん(56)＝トナミ運輸へ

▲ 11月4日 福島民友新聞掲載

記事から知り得たこと

調べてわかったこと、考えたこと (330 字程度)

疑問に思ったこと、調べてみたいこと

皆さんは、桃田さんのこの記事から、まねしたい、自分に取り入れたい、と思ったことは何ですか。

